

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

駒沢通り－1

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」と歩いてきました。

今回は「駒沢通り」を歩きます。駒沢通りは渋谷区広尾の明治通りの渋谷橋交差点を起点に、世田谷区玉川の多摩堤通りに至る約10kmの道です。写真右上は駒沢通りの道路名標識（都道416号線）です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[渋谷橋交差点]

渋谷区広尾一丁目

最寄駅 JR 恵比寿駅



駒沢通りの起点は明治通りの渋谷橋交差点（写真上左）で交差点の左方向へ向かいます。写真上右は起点での駒沢通りの道路名標識です。右端が直角なのは起点を表しています。渋谷橋は渋谷橋交差点の左を流れる渋谷川にかかる橋名です。



スタートするとすぐ左に「渋谷川」（写真左）があります。渋谷川はＪＲ渋谷駅南側から天現寺橋まで流れ、港区に入る下流は古川と名を変え東京湾に注ぎます。詳しくは寅さん歩 388 明治通りー1 をご覧ください。



ＪＲのガードをくぐると左はＪＲ恵比寿駅です。駅前には「恵比寿さん」（写真左）が鎮座していました。現在の「恵比寿ガーデンプレイス」には、かつて日本麦酒醸造株式会社（現在のサッポロビール株式会社）の工場があり、「エビスビール」を製造・販売していたのが駅名の由来です。恵比寿ガーデンプレイスにある「エビスビール記念館」は寅さん歩 354 東京の博物館めぐりー1 をご覧ください。

[鐘ヶ崎交差点] 渋谷区恵比寿南三丁目

最寄駅 東急東横線 中目黒駅



鐘ヶ崎交差点（写真上右）の右は旧山手通り（都道 317 号線）の起点で初台・渋谷方面へ行きます。駒沢通り（都道 416 号線）は左へ進みます。
交差点の先から目黒区へ入ります。

[中目黒立体交差] 目黒区中目黒三丁目

最寄駅 東急東横線 中目黒駅



目黒川（写真左）を渡ると中目黒立体交差（写真下右）で山手通り（都道 317 号線）と交差します。左へ行くと大鳥神社方面、右へ行くと中目黒駅方面です。
下を高速道路 中央環状線が通っています。



[正覚寺] 目黒区中目黒三丁目

最寄駅 東急東横線 中目黒駅



左側に「正覚寺」山門（写真上左）があります。1669 年（元和 5 年）開山の日蓮宗の寺院です。正覚寺は伊達家三代目藩主綱宗の側室であった三沢初子（写真上右）の帰依により、隆盛の基盤が築かれました。

三沢初子は歌舞伎「伽羅先代萩」の主要人物である「政岡」のモデルです。

正覚寺は寅さん歩 41 健康ご利益めぐりー5 目黒区ー2 をご覧ください。

[目黒区役所] 目黒区上目黒二丁目 最寄駅 東急東横線 中目黒駅



右側に「目黒区役所」（写真左）があります。寅さん歩 258 官公庁の食堂めぐりー14 をご覧ください。坂を上ったらバス停「けこぼ坂上」がありました。家に帰り調べたら、古くから交通の要所のこの坂道は急な個所をなくすための工事が繰り返され、赤土の塊がざらざらとこぼれ崩れやすくなっていたそ

うです。その状態を目黒の方言で「けこぼ」といい、坂名になりました。

[祐天寺] 目黒区中目黒五丁目

最寄駅 東急東横線 祐天寺駅



左側に「祐天寺」（写真上左右）があります。祐天寺は1718 年（享保 3 年）祐天上人を開山と仰ぎその高弟 祐海上人が創建した浄土宗の寺院です。六代将軍家宣夫人寄進の梵鐘と鐘楼など江戸時代の遺構を伝える建造物などがあります。寅さん歩 41 健康ご利益めぐりー5 目黒区ー2 及び寅さん歩 175 お江戸の時の鐘ー2 をご覧ください。

[さわら庚申と道標] 目黒区中町二丁目

最寄駅 東急東横線 祐天寺駅

左側に「庚申堂舎」（写真下左）があり、説明板によると三基の庚申塔は江戸時代寛文～元禄（1660年～1697年）のもの、右の道標（写真下右）は正面に「おく沢 ひもんや いけかみ 道」、左面は「右 あさふ あを山 道」、右面は「右 ごほん木 ふたご 道」と彫られています。建立は江戸時代の安政（1850年代）と推定。近くに「さわら」の木があったので名が付いたようです。



[十日森稲荷神社] 目黒区中央町二丁目

最寄駅 東急東横線 祐天寺駅

左側に「十日森（とおかもり）稲荷神社」（写真下左右）がありました。説明板には「五本木の旧家の島崎佐五右衛門の邸内にあった屋敷神をこの地に移したと伝えられ、旧上目黒村五本木組の鎮守で五本木田んぼの豊作守護神としてあがめられました。十日森の由来は稲荷を祀った森である“稲荷森”から“十日森”へなったという説があります」と記載。



[五本木交差点] 目黒区鷹番三丁目 最寄駅 東急東横線 学芸大学駅

東急東横線のガード（写真下左）をくぐると、五本木交差点（写真下右）です。



[駒沢陸橋交差点] 世田谷区野沢三丁目

最寄駅 東急東横線 都立大学駅



駒沢陸橋交差点（写真上右で）環七通り（都道 318 号線）と交差します。左へ行くと大森方面、右へ行くと高円寺方面です。交差点は世田谷区と目黒区の境で駒沢通り（都道 416 号線）は目黒区内を直進です。

[柿の木坂交差点] 目黒区柿の木坂二丁目

最寄駅 東急東横線 都立大学駅



柿の木坂交差点（写真左）で柿の木坂通りと交差します。左へ行くと目黒通り・東急東横線 都立大学駅方面、右へ行くと環七通り・野沢方面です。

〔東京医療センター前交差点〕 目黒区東が丘二丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

右側に「東京医療センター」（写真下左）があり、その先が東京医療センター交差点（写真下右）です。東京医療センターの前身は海軍医学校第二附属病院で1945年（昭和20年）国立東京第二病院、1998年（平成10年）国立病院東京医療センターに改称、2001年（平成13年）厚生省に移管、2004年（平成16年）独立行政法人国立病院機構東京医療センターと改称されました。



東京医療センター前交差点で自由通り（都道426号線）と交差します。左へ行くと自由が丘方面、右へ行くと駒澤大学・玉川通り方面です。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里（約 2400 k m の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023 年 7 月 23 日 関ヶ原（現在の岐阜県関ヶ原町）（江戸深川から 2089.5 k m）に到着しました。この後は 17 k m 先の終点の大垣（現在の岐阜県大垣市）へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝